

特集

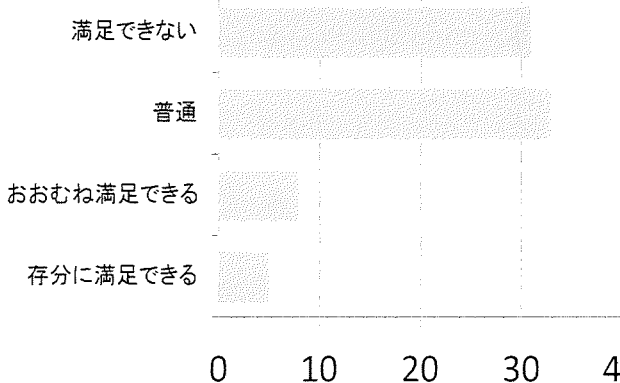
# 勉強について考え直す

## 南高生に必要な勉強に対する意識

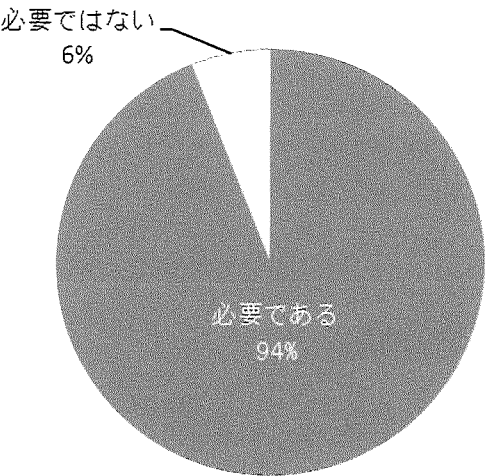


発行所  
網走南ヶ丘高校  
報道局  
発行責任者  
塚本妃那

自分のテストの結果や成績に満足しているか。



勉強は必要なのか。



では、南高生に勉強が必要かどうかとともに、今の成績と勉強量は十分に満足しているのか1年B組と2年B組の計77人の生徒を対象にアンケートをと

### 「必要である」が圧倒的

実施した。回答者数は77人(回答率100%)。テスト・成績の満足率に「満足」を回答した生徒は31人、「普通」と回答した生徒は33人、一方「おおむね満足できる」「存分に満足できる」と回答した人は回答者数の

2割にも満たなかった。勉強は必要なのかという問いに「満足」を回答した生徒は約40%の生徒が「必要である」と回答した。これらの結果から、現時点の成績・テストの満足率が低くても、勉強は必要であるという回答でほとんどの人が一致していることがわかった。

勉強という言葉は、生まれた時から今までたくさん耳にしてきた言葉である。小学生から勉強を積み重ね、多くの能力が身に

勉強はなぜするのか、将来必要なのかと考えたことはないだろうか。そこで報道局はこの疑問を解決すべく生徒・教員の声を聞いた。

付いている。例えば言語能力や計算力、発想力、表現力などが身に付いた。だが、中学や高校へ進学すると歴史、化学、生物のよう

## 勉強と将来の関わり

- ① 質問項目
- ② なぜ勉強が必要なのか
- ③ 勉強が増やせるのか
- ④ 受験勉強やテスト勉強などの不安について

勉強の意識について、理解を深めるために、報道局は教務部長の内田篤史先生と英語科の大野菜那先生に聞いた。

### あの先生達から聞く 受験生への応援



内田 篤史先生

① 知識という武器を増やすこと。社会に出ると様々な場面で、知識が必要となります。知らないという事は恥ずかしいことです。無知から有知に生まれ変わること、知識を増やすことで、考え、組み立てること、説明や問題解決につながる事ができます。

② まず目標を作ること。将来の自分を想像し、そのためにはどこへ進まなければならないのかを考える。ゴールがあればそこへ向けて走るだけです。強歩と同じでゴールまでの距離は変わりません。いつから走り始めるかが大切です。早いスタートを切ることができれば、ゆっく走り続けることができます。スタートが遅いと全力疾走で行きません。勉強も同じです。0分の人から15分でもいいから、毎日決まった時間に勉強を始める習慣を作ることです。習慣ができたなら徐々に増やしていきま。隙間時間も有効に使うことも大切です。(スマホは決まった時間になったら使わないことも重要)

③ 不安は消えませんが、悩む暇があつたら、英語を1個でも多く覚える、1問でも多く解いて、解き方を覚える、弱点を潰すなど勉強をやっているしかありません。ただやはり悩みます。そんな時は大人(先生)を頼ること。いろいろなアドバイスをしてくれ。ただし、普段言うことを聞かない、提出物を出さないなど、こちらの指示に従わないのに、困った時だけ助けて下さいと言ふことのないように。メンタル的にもきつくなり、不安は大きくなり、前を向いて進むしかありません。現役生は直前まで伸びます。頑張ってください。

### 特集を終えて

今回この特集を終えて、勉強と将来には関係性があり1日1日の時間を大切だということを知った。まずは、話を聞いた先生方の言葉に「勉強」を少しづつつけていきたい。そして高校生活の中で、今回の取材を通して得たものを生かし、新しい学びをどんどん追求したいと感じた。



大野 菜那先生

④ 思考力や理解力、表現力等を身につけるためには勉強が欠かせないから。量よりも質が大事! 1問に時間を費やすこと! 受験勉強もテスト勉強も、テスト期間を使つて対策するといふよりは、その1日で学んだことを復習して確実にできるようにすると、不安はなくなりそう! 第1志望の進路、進学先に行けるように日々計画を立ててがんばってください!